

数 学

3 枚の内 1

[1] 直交座標 (x, y) で、曲線 C を次式で定義する.

$$C(x, y) = (x^2 + y^2)^2 - (x^2 - y^2) = 0$$

[1-1] 曲線 C を極座標 (r, θ) で表せ.

[1-2] 曲線 C 上の x の最大値を求めよ.

[1-3] 曲線 C 上の y の最大値を求めよ.

[1-4] 曲線 C を xy 平面上に図示せよ.

[1-5] 曲線 C で囲まれた面積 S を求めよ.

数 学

3 枚の内 2

[2] 次式で $x(t)$ のラプラス変換を定義する. ただし, $s > 0$ とする.

$$X(s) = \mathcal{L}\{x\}(s) = \int_0^{\infty} x(t)e^{-st} dt$$

[2-1] 次の関数のラプラス変換を求めよ.

$$x(t) = e^{-\alpha t} \quad (\alpha \geq 0)$$

[2-2] 次の関数のラプラス変換を求めよ.

$$x(t) = t$$

[2-3] 次の微分方程式のラプラス変換を求めよ. ただし, $t = 0$ のとき, $x = 0$ および

$$\frac{dx}{dt} = -1 \text{ とする.}$$

$$\frac{d^2x}{dt^2} + 3\frac{dx}{dt} + 2x = 2e^{-3t} \quad (1)$$

[2-4] 式(1) を解け. ただし, $t = 0$ のとき, $x = 0$ および $\frac{dx}{dt} = -1$ とする.

[2-5] $x(t)$ と $y(t)$ の畳み込み積分のラプラス変換は, 次式で表される.

$$\mathcal{L}\left\{\int_0^{\infty} x(t-u)y(u) du\right\}(s) = X(s)Y(s)$$

$Y(s)$ は $y(t)$ のラプラス変換である. 次式の積分方程式を解け.

$$x(t) = 1 + \int_0^{\infty} e^{-(t-u)}x(u) du$$

数 学	3 枚の内 3
-----	---------

[3] 実ベクトル $\vec{x} = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$ のノルムを次式で定義する.

$$|\vec{x}| = \sqrt{\vec{x} \cdot \vec{x}} = \sqrt{x^2 + y^2 + z^2}$$

[3-1] Q を 3×3 の直交行列とする. すなわち, $Q^T = Q^{-1}$ である. ここで, T は行列の転置を表す. $|\vec{x}| = |Q\vec{x}|$ を証明せよ.

[3-2] 対称行列 A は直交行列 P および対角行列 D を用いて次式で書ける.

$$A = P^T D P$$

A が次式で与えられるとき, D を求めよ.

$$A = \begin{bmatrix} 2 & 1 & 1 \\ 1 & 2 & 1 \\ 1 & 1 & 2 \end{bmatrix} \quad (2)$$

[3-3] $\vec{x} \neq \vec{0}$ のとき, $\frac{\vec{x} \cdot (A\vec{x})}{\vec{x} \cdot \vec{x}}$ の最大値を求めよ. A は式(2)で表される.